

住信為替ニュース

THE SUMITOMO TRUST & BANKING CO., LTD FX NEWS

第1442号 1998年06月29日(月)

《 somewhat stabilized 》

先週末に正式発表された住友信託銀行と日本長期信用銀行の合併交渉入りで、金融市場全体が高まっていた先行き不安感と、それに伴うトリプル安状況は一応解消しました。これに関する報道が NHK などでも流れた先週金曜日午後2時以降の日本の株、債券、円相場のプラス・コラムへの転換は力強いものでした。

日本が抱える金融システムの問題は、むしろこれですべて片が付いたわけではなく、今週も世界の金融市場はいくつもの不安材料を抱える日本の金融システムの問題とそれに対する日本政府の対応や、個々の金融機関の動きに強い関心を寄せるでしょう。中国を訪問しているクリントン大統領は江沢民・中国国家主席との会談後に記者会見で、

「米中両国は日本の金融システム改革や成長と投資の回復を支援するが、何より日本自身の正しい決定が必要だ」

と述べて、改めて日本の金融問題に対する日本自身の本格的な取り組みを要請した。自国経済運営が難しくなるという意味でこの両国が日本経済を懸念していることは確かだが、日本はその遅い動き故に、「諸悪の根源」的な存在に容易にされつつある印象が強い。

日本の経済政策運営に市場や諸外国が残している懸念とは、次のようなものです。

1. 破綻金融機関の処理に関して、安心できる確固としたスキームができあがっていないわけではない。株価の水準などを見ると、今後単独で経営を続けていくことが難しい金融機関が日本にはいくつかあること
2. そうした中で、「受け皿銀行」構想が確定されておらず、住友信託銀行と日本長期信用銀行の合併も、長銀が抱える「不良債権」などの処理方法が必ずしも明確でないこと
3. 日本の金融機関は全体として、経営体質の改善や収益基盤の確保で一步遅れているとみられており、常に先行きに懸念が残ること

今週は2日に自民党の金融再生トータルプラン推進特別調査会が開かれることになっており、こうした場での議論に市場の目が行くことになる。市場の関心は、不良債権の処理

や市場で弱い環と見られている個々の金融機関の経営が、合併や精算 ブリッジ・バンクへの移管などの形でどのように整理され、日本における金融の正常化が回復され、实体经济への資金供給が回復するか。

市場がそこでもっとも重視しているのは、「スピード」であると言える。矢継ぎ早の手が打たれ続けられれば、市場はこれに対して、株高、円高で応えることになる。

《 more to come 》

金曜日のマーケットを見ていて一つ感じたことは、一つ一つの問題に「形」が付いていくことが、いかに市場の安定、安心感の醸成になるか、ということだ。金曜日の午後2時までの時点では、日本の金融市場全体に「今週のこの地合を引き継いで週末に突入するのか……」という不安感が強かった。だから日本の株、債券、為替市場は全部非常にナーバスで、価格は下げ方向だった。

しかし、午後2時の報道で長銀の経営の行方に少なくとも形、目処が見えた段階から市場は急速に回復した。株は日経平均で見てプラス・コラムに転換し、かなり上昇していた短期金利は大幅に低下し、債券は買われ、円も大きく反発した。一つ一つの問題に形を与え、解決をトライしていくことの重要性がはっきり示されたと言える。

市場が評価したのは、「動き」が出たということだ。「動かない日本」はあまりにも有名になっているから、市場はむしろ日本の動きが出るとこれを大きく評価する。残された問題が大きいことを理由に、「まだダメだ」「これでも問題が多い」と論評するのは、人間の作る社会を理想化しすぎている。市場の動きを見れば、何が歓迎されていて、何が歓迎されていないか分かる。今は動かないことが評価されない。市場は、「一歩でも前進すること」を評価する。

だから、「また日本は止まった」と市場が思い起こせば、再び市場の不安感は再び高まり、株安、金利上昇、円相場安の状況になる。日本は金融市場の再生に向けて動き続けなければならないわけです。今までため込んだしこりが大きかっただけに、それをなくすには足早な動きが要請される。

日本の金融市場が置かれた環境からすれば、住友信託銀行と長銀の合併交渉入りで示されたような動きは、今後も続くでしょう。「more to come」というわけです。両行の合併交渉入りに関しては、海外の評価もおおむね好評のようです。ウォール・ストリート・ジャーナルは金曜日の深夜見たネット版ではこのニュースを二番目に扱い、以下のように書いている。

「 Analysts praised the idea of a merger as a signal that Japan will allow market forces to weed out weaker banks. They say that is what Japan needs to bolster its overall financial

system.

"We should be looking at this as good news because it shows how the Japanese bank bailout will likely proceed," said Pelham Smithers, strategist at the Tokyo office of ING Baring Securities.

A Sumitomo-LTCB marriage would create Japan's second-biggest bank and one of the world's 10 largest in terms of revenues.」

またニューヨーク・タイムズは

「The Sumitomo/LTCB plan will be a test case for a scheme being developed by the government to help end its financial crisis, and analysts believe it will offer support.

Fiorillo said: "This is the first aggressive use of public funds under the new regime - on the surface very positive." Some analysts think the government should be even tougher in shutting LTCB's operations but Fiorillo said: "I think we've got as much as we could expect with the need right now to restore confidence in the financial system."」

つまり、日本における銀行救済の型が見えた、または今後見えてくるだろうという期待を表明している。従って、日本はこの型を中身のあるものにし、期待に応じなければならない。そのためには、今朝の段階で「の方針」「を検討」「の意向」などと日本の新聞に山のように書かれている様々な「計画」が実際にどう決着するかが重要。これらが「実施」に移されて初めて、日本の金融市場の先行きに安心感が漂う。

将来的に見れば、再編成の中で出来てくる銀行の経営がうまく行くかどうかという一番肝心の要素は、経営者とその銀行を構成する銀行員の力量だということです。つまり、その銀行がどのようにして市場で viable な存在として成長するのか、という点です。何を柱に、お客さんに何を提供して。何を儲けの柱とするか。世界中の銀行にとって、当たり前ですがこの問題が一番大きい。

《 unemployment figures 》

今週の予定は次の通りです。

| | |
|----------|---|
| 29日(月曜日) | 日銀短観 5月の鉱工業生産 |
| 30日(火曜日) | 5月の完全失業率 5月の有効求人倍率 米連邦公開市場委員会(FOMC) |
| 1日(水曜日) | 6月の外貨準備高(大蔵省) 6月の全米購買部協会(NAPM)景気指数 |
| 2日(木曜日) | 自民党金融再生トータルプラン推進 特別調査会 6月の米雇用統計 5月の日本の家計調査 |

日銀短観は29日の午前8時50分に出ている。「予想より良い」という論評が多いようですが、依然として日本経済が厳しい環境に置かれていることは間違いない。日本の景気で懸念されるのは、従来だったら景気の安定ファクターだった消費が、今は一番景気の足を引っ張る要因になっていること。やはり雇用問題が大きい。

そこで注目される数字は、日米の雇用統計です。特に日本の雇用情勢の悪化が示されると、いよいよ政治問題になってくる可能性が高い。FOMCは金利を据え置く見通し。あとは、自民党の金融再生トータル・プラン推進特別調査会の合意内容が重要である。

《 have a nice week 》

雨がちでしたが、久しぶりに暑い週末でした。特に日曜日は外に居るだけで、暑かった。先週に引き続き、映画を見ました。本当は「ディープ・インパクト」を見ようと思ったのですが、それが満員で「不夜城」を見たのです。しかし、まったく面白くなかった。台湾に行くときも飛行機の中で、最近では東京のタクシーの中でも宣伝を見かけますが...。まあ映画はそれぞれの人の印象があるでしょうが。

皆様には、良い一週間を。

<http://www.ycaster.com/>